

ACCESS MAP

- ◎江ノ島電鉄 石上駅 下車 徒歩4分
- ◎JR 藤沢駅・小田急 藤沢駅 下車 徒歩13分



医療法人篠原湘南クリニック クローバーホスピタル

〒251-0025 神奈川県藤沢市鵠沼石上3-3-6

入院相談 TEL 0466-24-3400

在宅診療部 TEL 0466-22-7163

TEL 0466-22-7111

FAX 0466-22-7112 <http://www.cloverhospital.jp/> e-mail info@cloverhospital.jp

クローバークリニック	〒251-0032 神奈川県藤沢市片瀬4-10-22	電話0466-22-5110 FAX0466-22-5135 (外来) 電話0466-24-5876 FAX0466-55-3820 (訪問診療)
ひろき訪問看護ステーション	〒251-0035 神奈川県藤沢市片瀬海岸3-4-22	電話0466-55-3810 FAX0466-55-3820
老健リハビリセンタークローバーヴィラ	〒251-0021 神奈川県藤沢市鵠沼神明3-1-1	電話0466-55-3011 FAX0466-55-3012
クローバー デイケアセンター	〒251-0021 神奈川県藤沢市鵠沼神明3-1-1	電話0466-24-5901 FAX0466-22-3881
クローバー居宅介護支援事業所	〒251-0021 神奈川県藤沢市鵠沼神明3-1-1	電話0466-86-7040 FAX0466-25-2812
介護付有料老人ホームクローバーガーデン	〒251-0032 神奈川県藤沢市片瀬4-10-22	電話0466-22-7500 FAX0466-22-8141



Clover Hospital

20181204500



Clover Hospital

医療法人 篠原湘南クリニック
クローバーホスピタル

Clover Hospital



地域に密着した“入院のできる在宅医療”“医療のある介護”を実践しています。

患者様お一人おひとりの人間性を尊重し、良質で心のこもったケアを提供します。

クローバーホスピタルが担う役割

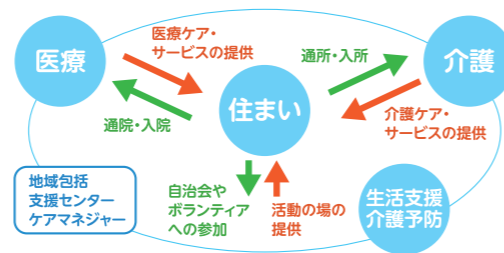
地域医療構想において

国が策定した「地域医療構想」では、効率的で質の高い医療を提供するために病床機能の分化を推進しています。高度急性期機能、急性期機能、回復期機能、慢性期機能の4つのうちクローバーホスピタルは回復期と慢性期の医療を担っています。

地域包括ケアシステムにおいて

地域包括ケアシステムとは、「介護が必要になった高齢者も、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいのサービスを、一体的に受けられる支援体制」のことです。

地域包括ケアシステムのイメージ



その中で医療の中心的役割を担うのが地域包括ケア病棟です。①急性期病院からの患者様の受け入れ(ポストアキュート)、②在宅・施設の患者様の緊急受け入れ(サブアキュート)、③在宅への復帰支援、の3つを行います。

クローバーホスピタルは、急性期医療と在宅医療の橋渡し、医療と介護の橋渡し、在宅医療のバックアップをすることで、地域包括ケアシステムを支えます。

在宅復帰を目指す方には地域包括ケア病棟・回復期リハビリ病棟に必要な治療とリハビリテーションを提供し在宅復帰支援を行います。医療療養病棟ではがん・非がんにかかわらず終末期の方に最後の時間を有意義に過ごしていただけるよう心のこもったケアを行います。特殊疾患病棟では神経難病等の方に長期に安心して療養できる場を提供します。

高度急性期病院 一般急性期病院

▼ ポストアキュート

クローバーホスピタル170床

2F	地域包括ケア病棟	46床
3F	回復期リハビリテーション病棟	60床
4F	医療療養病棟	31床
	特殊疾患病棟	33床

▲ サブアキュート

在宅・介護施設・老人ホーム



Doctors
(私たちが担当します)

診療科目：
内科・神経内科・腫瘍内科・緩和ケア内科
呼吸器内科・消化器内科・
循環器内科・リハビリテーション科・
アレルギー科・リウマチ科・皮膚科・
各種健康診断



外来診療

(総合診療から専門科まで)



Rehabilitation
(PT・OT・ST 60人以上の体制)

病院憲章

- 伝統と歴史を認識し、患者様、地域、職員に選ばれる病院を目指します
- 一人ひとりが親身になってすべての患者様を支援します
- 常に在宅復帰の可能性を追求し、最新・良質な医療介護を提供します



理事長 篠原裕希
Hiroki Shinohara

篠原湘南クリニックは、1988年に湘南片瀬で誕生し、外来・在宅医療を中心にデイケア・訪問看護・訪問リハビリを展開してきました。2004年にクローバーホスピタル、その後、有料老人ホーム・介護老人保健施設・居宅介護支援事業所が加わり、真の意味で医療・介護の総合センターになりました。

日本が少子高齢化・人口減少に向かう中、国策として医療機関は「在宅医療」「終末期と看取り」「認知症」への対応が求められています。

クローバーホスピタルはその最前線で、「在宅復帰」と「在宅生活の守護神」という2大命題に立ち向かっていきます。素晴らしいスタッフに支えられ、さらにパワーアップした姿をお目にかけることができると確信しております。



院長 鈴木勇三
Yuzo Suzuki
呼吸器・アレルギー科

クローバーホスピタルは、「在宅療養支援病院」として、急性期医療と在宅医療を繋ぐ役割と在宅医療のバックアップをミッションにしています。地域の方を外来から入院までトータルでサポート致します。

入院部門は、質の高い治療・ケア・リハビリテーションを提供し、在宅に帰るべき方には在宅復帰支援を行い、終末期を迎える方には有意義な時間を過ごしていただけるように取り組んでいます。

地域医療は「駅伝」です。襷(タスキ)である患者様を、住み慣れた地域の中で適切なタイミングで適切な場所へ繋いで最善のゴールを目指すものです。クローバーホスピタルは、患者様と御家族、そして地域の医療介護関係者の皆様から信頼されるランナーとなるよう今後も走り続けて参ります。

看護部

患者様・ご家族様の思いに寄り添った、多職種協同によるきめ細やかなケアを提供し、地域の皆様から“えらばれる”病院づくりを目指しています。

看護部理念

患者様・ご家族様の思いに寄り添う看護の実践

看護部方針

- 1:安全で安楽な入院生活が過ごせるように、質の高い看護を提供します
- 2:患者様・ご家族様が安心して退院できる退院支援を行います

看護部目標

- 1:安全で安心できる看護に、温かい心を添えて提供します
- 2:患者様の目標達成に向かい、多職種が協同し、きめ細やかな退院支援を行います

在宅診療部

法人の理念でもある“地域に密着した入院のできる在宅医療”を目指し、病棟スタッフと連携をとりながら患者様ご家族様に安心して療養生活を送っていただけるよう支援します。

また、在宅診療部を中心に「訪問リハビリテーション」「ひろき訪問看護ステーション」とのチームワークで「質の高い在宅療養」をご提供いたします。ご自宅での看取りを希望される方や在宅療養に不安をお持ちの方にも、しっかりと寄り添いサポートいたします。

リハビリテーションセンター

リハビリテーションセンターでは、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が協同してリハビリテーションにあたります。

リハビリテーションの目的は、「生活の再建」です。日常生活に必要な動作能力の改善を図る為、リハビリテーション室のみではなく、病棟内での練習を積極的に取り入れています。また、在宅復帰を目指す患者様には、家屋調査による住宅改修のアドバイス・介助方法指導・生活指導を入院中より積極的に実施します。

また、看護師や介護職員とも協同し、生活に視点をかけた支援を心掛けています。